

## 早生穂いもちの発生に注意してください

県内では7月上旬までに一部の常発地で葉いもちが発生しています。また、箱施薬を行なった圃場でも、田植え45日後からは効果がうすれるため、葉いもちが発生してきます。

7月、8月は雨が多い予報で、いもち病の発生しやすい予想です。

葉いもちが発生すると穂いもちに移行し減収する場合があります。圃場を巡回し発生が認められたら場合は早急に防除を行ってください。



### 防除対策

- (1) 病斑を見つけたら、直ちに防除する。
- (2) 散布後も新たな病斑が見られたら、1回目散布の10日後に追加防除する。
- (3) 葉いもちが多い圃場では、穂肥を控える。
- (4) 出穂前に葉いもちの発生している圃場は、穂ばらみ期と穂揃期の2回、薬剤を散布する。

### 薬剤一覧

薬剤名	使用濃度	10aあたり使用量	使用時期
ビーム粉剤DL	—	3~4kg	7日前まで
ビームエイトゾル	250倍	25ℓ	7日前まで
ビームスタークル粉剤5DL	—	3~4kg	7日前まで
ビームスタークル微粒剤F	—	3~4kg	7日前まで
ラブサイド粉剤DL	—	3~4kg	7日前まで
アミスタートレボンSE	1,000倍	60~150ℓ	14日前まで
トップジンスタークル粉剤DL	—	3~4kg	14日前まで
トライトレボン粉剤DL	—	3~4kg	14日前まで
トライK粉剤DL	—	3~4kg	14日前まで
トライフロアブル	1,000倍	60~150ℓ	14日前まで
ブラシン粉剤DL	—	3~4kg	7日前まで
ブラシンフロアブル	1,000倍	60~150ℓ	7日前まで
サジェスト微粒剤F	—	3~4kg	21日前まで

☆最新の農薬登録情報([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))を確認して下さい。